

三光地域包括支援センター

16日移転「明野地域」に改称

苦小牧東病院別棟を活用

社会医療法人平成醫塾（い

じゅく）は、苦小牧市三光町

で運営している三光地域包括支援センターを16日、市内明野新町5に移転し、名称を「明野地域包括支援センター」に改める。同法人が運営する苦小牧東病院別棟の空きスペースを活用。小川雅子センター長は「同病院と非常に近くなり、これまで以上に医療との連携を強化したい」と話す。地域包括支援センターは介護医療法に定められた高齢者

の支援機関。医療や介護、福祉などの相談対応やマネジメントに当たる。

市内では7カ所に設置されており、三光地域包括支援センターは明野新町、泉町、音羽町、三光町、新明町、住吉町、高丘の一部、日の出町、双葉町、丸山、美園町、柳町の市内東部地区を担当。担当地域の高齢化率は26・2%（2018年10月1日時点）という。

平成醫塾はこれまで、苦小牧東病院西側の別棟1階に職員の子どもを預かる院内保育所を開設していたが今春、同院そばに新築した施設内に企業主導型保育園を開園。従来

の院内保育所は閉鎖されたため住民の利便性や医療との連



16日に稼働する明野地域包括支援センター

携強化を考慮し、空きスペースに地域包括支援センターを移転させる。

移転に伴い、空きスペース約150平方メートルを改修。事務室や会議室、住民などからの相談に対応する部屋を配置したほか、かつて園庭だった場所に駐車場を整備した。

なお、三光地域包括支援センターは地域内の商業施設で定期的に相談会を開いたり、介護予防教室を実施するなど、の事業を展開してきたが移転後も継続する。

16日以降の連絡は、明野地域包括支援センター 電話0144（53）4165。